

～診断から解決へ、働き「つづけられる」組織を「つくる」～

**8割以上の離職理由にあがる要素が見える化！**

## 日本初の”ハイジーンファクター”改善サービス『ハイジ』 1月24日β版リリース

「働くヒトのライフスタイルを豊かにする」をミッション・ステートメントに社会課題の解決に取り組む株式会社おかん(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO: 沢木恵太)は、離職の約8割の理由となっている“ハイジーンファクター※”に特化した、日本で初めての改善サービス『ハイジ』β版を2019年1月24日にリリースします。



『ハイジ』は、自身の健康状態、家庭との両立、同僚との関係、職場環境など離職の約8割の理由となっている、ハイジーンファクターに特化した調査・分析サービスです。本サービスは、従業員がオンラインで10分程度のアンケート回答をすることで、ハイジーンファクターを分解した12要素の状態を数値化。部署や年齢といった区分ごとの結果を一覧で比較することができ、企業における改善すべき問題の原因と、その優先順位を明確にすることができます。

低価格で容易に調査・分析でき、アンケート回答も簡単に短時間でできるため、サービス業、製造業、建設業、情報通信業など様々な企業で利用実績または利用予定があり、幅広い企業でエンployee・エクスペリエンス(EX)の向上による、望まない離職の防止や従業員満足度の向上を目指すことができます。

### <ハイジの特徴>

- 日本初の「ハイジーンファクター」に特化した改善サービス
- ハイジーンファクターを数値化し、経営への効果を測るものさしに
- 自社に合わせた区分ごとの結果を一覧で比較し、改善すべき優先度が決まる
- わずか10分で回答完了!誰でも簡単に回答できる画面(スマホにも対応)で、どんな業態でも容易に実施可能

株式会社おかんは、望まない離職を未然に防ぐために企業に取り組むべきEX向上活動において、今回の新サービス『ハイジ』で問題特定や改善計画立案を支援し、全国1500社が導入する既存サービス「オフィスおかん」はソリューションのひとつとして、問題の解決を支援します。これらのサービスを通して、企業課題と社会課題を解決し、「働くヒトのライフスタイルを豊かにする」というミッションの実現を目指します。

## ■ハイジーンファクターとは？ ～人材不足の企業が投資すべき「ハイジーンファクター」～

### 離職理由の約8割が「ハイジーンファクター」であることをご存知ですか？

人材不足が叫ばれる中、果たして「出会い」だけに情熱を傾けて、出会ったあとの「働きつづけられる組織づくり」をなおざりにしてよいのでしょうか？

有名な学者ハーズバーグ<sup>※</sup>は、従業員の満足度低下や離職の理由は2種類しかないと唱えました。仕事のやりがい、責務、企業理念への共感など「モチベーター」と呼ばれるもの。もうひとつは、自身の健康状態、家庭との両立、同僚との関係、職場環境など「ハイジーンファクター」と呼ばれるものです。厚生労働省の調査結果<sup>※</sup>によると、離職理由の約8割はハイジーンファクターからくるものでした。

愛社精神の強い優秀な人材でも、ハイジーンファクターが理由で離職することがあります。欧米では経営上の重要な投資対象として積極的に取り組まれています。

※Frederick Herzbergはアメリカの臨床心理学者で「The two-factors theory」を提唱  
※厚生労働省「平成28年雇用動向調査結果の概況 転職入職者が前職を辞めた理由別割合(自主都合退職のみ)」より集計

## ■ハイジとは？

### 「働きつづけられない」理由を数値化し原因と優先順位を明確に

人材不足が深刻な日本、そして離職理由の8割がハイジーンファクターである日本において、ハイジーンファクターへの投資は経営上とても重要なことです。しかし日本では、ハイジーンファクターに特化して調査・分析するサービスがありませんでした。日本でもハイジーンファクターに投資する文化を作りたい。そしてその投資が適切に行える支援サービスを作りたい。その想いを込め「ハイジーンファクター」にちなんで「ハイジ」というサービスを作りました。

ハイジは、「働きつづけられない」理由となっているハイジーンファクターを12要素に分解し、それぞれの現状を数値化することで、改善すべき問題の原因と、その優先順位を明確にする、調査・分析サービスです。

#### わずか10分で回答完了！従業員の負担を最小限に

容易に調査できるよう、操作が簡単でシンプルな見た目。

スマホからでもPCからでも回答ができます。ハイジは、従業員からの回答を簡単にすることにこだわっています。PCでの回答はもちろん、スマホにも対応。直感的に操作ができ使いやすい回答画面です。誰でも簡単に10分で回答できるから、どんな業態でも、どんな会社でも実施することができます。

#### ハイジスコアが経営への効果を測るものさしに

数値化できるから、比較をしながら問題点や成果を定量的に把握できます。

ハイジは、ハイジーンファクターを数値化（ハイジスコア）でき、前回との比較や他社との比較ができるので、問題点や成果を定量的に把握することができます。このハイジスコアは「ものさし」として、社内の経営者、責任者、担当者の共通言語になります。ハイジスコアは、離職意向のバロメーターになる職場推奨スコアと、人件費損失の改善のバロメーターになる生産性スコアへの影響度も明らかにするので、経営への効果も分かりやすい「ものさし」です。

#### ハイジマップで、改善すべき優先度が決まる

自社に合わせた区分ごとの結果を一覧で比較。

視覚的に問題点を特定できます。ハイジは、部署、年齢、子ども有無など、自社に合わせた区分で個別に分析が可能です。各区分を比較しながら問題点を一覧で見ることができる「ハイジマップ」で直感的に把握できます。ハイジーンファクター12要素と掛け合わせ、例えば「営業部×チームワーク」の組み合わせが職場推奨スコアに強く影響を与えている、「育児中×制度の充実」の組み合わせが生産性スコアに強く影響を与えているといった様に、効果的で投資対効果の高い施策の優先順位を決めることができます。

## ■株式会社おかん 企業概要

株式会社おかんは、「働くヒトのライフスタイルを豊かにする」をミッション・ステートメントに、自身の健康状態、家庭との両立、同僚との関係、職場環境など「働きつづけられなくなる」理由である「ハイジーンファクター」に特化し、問題特定から改善・解決までの支援サービスを企業向けに提供しています。それにより、人材不足が深刻である日本における企業課題と社会課題の解決に取り組み、「働きつづけられる」社会を実現することを目指しております。

このような構想のもと、働く毎日に起こる問題に着目し、ソリューションのひとつとして、2014年3月よりぷち社食サービス「オフィスおかん」事業を開始。食生活の支援を通して、働くヒトと企業に起こる様々な問題を解決することで多くの企業でサービスを導入いただいております。

また、「働きつづけられない」理由を明確にすることで、企業が適切かつ効果的に問題を改善・解決できるよう、ハイジーンファクターを数値化し、問題の原因と優先順位を明確にできる、ハイジーンファクター改善サービス「ハイジ」事業のβ版を2019年1月よりスタート。サービス業、製造業、建設業、情報通信業など様々な企業で利用実績または利用予定があります。

今後も様々なアプローチで、働く毎日に起こる問題を解決し、働き「つづけられる」社会をつくります。

[会社名] 株式会社おかん (<https://company.okan.jp/>)  
[代表者] 沢木 恵太(さわき けいた)  
[住所] 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル4階  
[設立年月] 2012年12月  
[事業概要] ぷち社食サービス「オフィスおかん」 (<https://office.okan.jp>)  
ハイジーンファクター改善サービス「ハイジ」 (<https://hygi.jp/>)  
惣菜の定期仕送りサービス「おかん」 (<https://my.okan.jp/>)

